

問1 中国・四国地方の各県の産業構造について、統計に現れる背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 青森

県公立入試 類似）

1. 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。
2. 香川県で果実産出額が一定の割合を占めるのは、季節風を遮る高い山脈がないため、年間を通じて降水量が非常に多いからである。
3. 山口県で重化学工業が発達しているのは、広大な平野部を利用して大規模なシリコンバレーが形成されたからである。
4. 中国・四国地方のすべての県において、共通して人口が増加傾向にあるのは、本州四国連絡橋の整備によりストロー現象が解消されたからである。

問2 中国地方と四国地方の各県のうち、県名と県庁所在地名が異なる県は全部で3つあります。その県名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. 島根県、愛媛県、香川県
2. 島根県、徳島県、香川県
3. 山口県、愛媛県、高知県
4. 鳥取県、島根県、山口県

問3 中国地方に位置する鳥取県の農業産出額において、約58%と半分以上を占めている、この県の農業の特色といえる部門はどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. 米
2. 野菜
3. 果実
4. 畜産

問4 ある統計資料において、果実産出額が497億円に達し、近隣の県や三重県などの他県と比較しても非常に高い数値を示している県があります。この県では、瀬戸内地方の温暖な気候を活かして、みかんなどの柑橘類の生産が盛んに行われています。この特徴に合致する県はどこですか。（2019年 三重公立入試 類似）

1. 愛媛県
2. 青森県
3. 宮崎県
4. 和歌山県

問5 2010年における四国地方の農業産出額の統計（総額3,942億円）において、産出額が1,324億円に達し、全体の3割以上を占めていた品目はどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 野菜
2. 果実
3. 米
4. 畜産

問6 瀬戸大橋を含む本州四国連絡橋の開通にともなう交通の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 高速道路の整備によって自動車による陸上交通が中心となり、鉄道連絡船との接続を目的とした鉄道路線の廃止などの影響が見られた。
2. 橋の開通によって本州と四国の往来が容易になった結果、フェリーの利用者数が急増し、港周辺の鉄道網が以前よりも複雑化した。
3. 自動車の通行料金を抑制するために高速道路の利用が制限されたため、一般道路の混雑が激しくなり、鉄道の重要性が再び高まった。
4. 交通網の整備により四国地方への観光客が増加したため、かつて廃止されていた港への鉄道連絡線をすべて復旧させ、海運との連携を強化した。

問7 ある県の産業統計において、製造品出荷額が約6兆円と周辺の県に比べて突出して高く、その内訳では化学工業が約1.8兆円と大きな割合を占めているという特徴があります。1,504kmに及ぶ長い海岸線を持ち、漁業生産量も一定の規模を保っているこの県はどこですか。（2021年 山口公立入試 類似）

1. 山口県
2. 愛媛県
3. 和歌山県
4. 広島県

問8 ある地域の地形図を確認すると、耕作地の周辺に「角田池」といった名称の池がいくつも点在している様子が見取れます。このように、特定の地域で多くの池が人工的に設置されている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 岩手県公立入試 類似）

1. 年間降水量が少なく、安定した農業用水を確保するため
2. 冬の積雪が多く、その雪解け水を一時的に貯めるため
3. 台風による水害を防ぐため、河川からあふれた水を貯めるため
4. 養殖業を盛んにするために、海水を貯める場所が必要だったため

問9 2016年の香川県における外国人延べ宿泊者数は約25万人を記録し、2012年から4年間で大幅な伸びを見せました。この期間の動向や統計の詳細について述べた文として、適切なものを選択してください。（2018年 香川公立入試 類似）

1. 2016年の宿泊者数は2012年と比較して3倍を超える急増を見せており、台湾からの観光客が中心となっている。
2. 2016年の宿泊者数は2012年の3倍以下に抑えられており、特定の地域に偏らないバランスの良い増加となっている。
3. 延べ宿泊者数は増加しているが、その構成比では欧米諸国が台湾や韓国を上回っている。
4. 宿泊者数は急増しているが、宿泊日数で見ると1人あたりの平均宿泊数は全国平均を大きく下回っている。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。	広島県の統計で外国人宿泊者数が多い背景には、国際的な平和記念都市としての認知度や、日本三景の一つである厳島神社などの強力な観光資源の存在があります。一方、香川県（瀬戸内側）は山地に囲まれて降水量が少なく、ため池が作られるほどの地域であり「降水量が非常に多い」という説明は誤りです。また、多くの地方自治体と同様に人口減少は共通の課題となっています。
問2	<b>答え 1</b> 島根県、愛媛県、香川県	中国・四国地方にある9県のうち、県名と県庁所在地名が異なるのは、島根県（松江市）、愛媛県（松山市）、香川県（高松市）の3県のみです。鳥取県、山口県、徳島県、高知県などは、県名と県庁所在地名が同一であるため、知識の整理が必要です。
問3	<b>答え 4</b> 畜産	鳥取県では、中国地方の最高峰である大山の裾野（ふもと）に広がる広大な土地を有効に活用した畜産業が非常に盛んです。その規模は大きく、産出額全体の過半数を占めるほどであり、次いで米（約12%）、野菜（約10%）という順になっています。このように特定の県で畜産が極端に高い割合を示すのは、その土地の地形的特徴が強く反映されているためです。
問4	<b>答え 1</b> 愛媛県	瀬戸内海に面した愛媛県は、年間を通じて温暖で晴天の日が多い気候特性を持っています。この気候を活かした果樹栽培、特にみかんをはじめとする柑橘類の生産が非常に盛んであり、統計データにおいても野菜産出額や工業出荷額と比較して、果実産出額が際立って高いという特徴があります。青森県はリンゴ、宮崎県はピーマンなどの促成栽培、和歌山県も柑橘類で有名ですが、資料の数値や瀬戸内の気候条件の説明から愛媛県を特定できます。
問5	<b>答え 1</b> 野菜	四国地方の農業は、高知県を中心とした野菜の生産が非常に盛んである点が特徴です。2010年のデータでは、野菜の産出額が総額の33.5%を占めており、果実（みかんなど）や畜産、米と比較しても最大の割合となっています。これは、温暖な気候を活かした高付加価値な農業が展開されていることを示しています。
問6	<b>答え 1</b> 高速道路の整備によって自動車による陸上交通が中心となり、鉄道連絡船との接続を目的としていた鉄道路線の廃止などの影響が見られた。	本州四国連絡橋の完成は、人や物の流れを「海運（連絡船）と鉄道の継ぎ」から「陸路（高速道路・鉄道）による直通」へと変化させました。これにより、移動時間が大幅に短縮される一方で、連絡船に接続していた港湾部への鉄道路線などは不要となり、姿を消していきました。地形図などの資料でも、1980年代にあった港への線路が、橋の完成後には消滅している様子が確認できることがあります。
問7	<b>答え 1</b> 山口県	山口県は瀬戸内工業地域の一角を担っており、特に石油化学コンビナートなどが立地する沿岸部を中心に化学工業が発展しています。そのため、製造品出荷額に占める化学工業の割合が非常に高いことが最大の特徴です。三方を海に囲まれているため海岸線が長く、水産業も盛んですが、農業における果実生産の割合はそれほど高くありません。
問8	<b>答え 1</b> 年間降水量が少なく、安定した農業用水を確保するため	瀬戸内地方のような降水量の少ない地域では、川から引ける水の量に限りがあるため、人工的な貯水施設である「ため池」を築いて農業用水を管理してきました。地形図上で多数の小さな池が描かれているのは、こうした気候的制約を克服しようとした地域の歴史的背景を反映しています。
問9	<b>答え 1</b> 2016年の宿泊者数は2012年と比較して3倍を超える急増を見せており、台湾からの観光客が中心となっている。	香川県における外国人延べ宿泊者数は2012年から2016年にかけて3倍を超える非常に高い伸び率を記録しており、統計資料でも「急増」として示されています。この成長を牽引しているのはアジア圏からの観光客であり、特に2016年時点で全体の26.5%を占める台湾の影響が顕著です。宿泊者数が3倍以下であるという理解や、欧米諸国がアジア圏を上回っているという記述は、当時の統計データとは異なります。